



誕生日お祝い

奨学金支給

友のみどころ

スマイル・ボックス

●**濱上友美さん**／先日はラウンドテーブルにて遊食そう家にお越し頂きありがとうございました。主人よりお礼の言葉を預かって参りました。“ラウンドテーブルや懇親会など多々ご利用いただきありがとうございました。27年間料理一筋でしたが、来月から心機一転新しいことへの挑戦でわくわくしています。今後はロータリーの家族懇親会などで皆様にお会いできることを楽しみにしています。今までどうもありがとうございました。そして、今後とも宜しくお願いします。”

●**橋元 隆さん**／誕生日祝いありがとうございます。2月生まれは忘れられがちですが、ロータリーだけは先に祝っていただいで感謝しております。

●**松元 まやさん**／鹿児島中央ロータリークラブの皆さまご無沙汰しております。昨年から体調不良でお休みしておりましたが、まだしばらくかかりそうなので一旦はロータリーを退会させていただくことにしました。皆さんには仲良くして頂き、楽しい思い出が沢山できました。また元気になって戻って来れる

よう頑張ります。有難うございました。

●**志賀 賢一さん**／誕生日祝いありがとうございます。さかのぼってみると約8か月ぶりに出席で、皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありません。自分ではまだ新人のつもりでおりましたが、会員名簿を見ると、いつの間にか現役会員では上から数えたほうが早い順になってしまいました。今後とも健康には気を付けます。

●**丸山 健太郎さん**／誕生日祝いをありがとうございます。11日で65歳になります。四捨五入すると70。アラウンド「70」です。いやはや。

●**大迫 哲也さん**／お誕生日祝いありがとうございます。2月23日で67才になります。23日は天皇誕生日で3連休となります。ゆっくりお休みください。

●**國料 忠さん**／誕生日祝いありがとうございます。まさに本日誕生日でした。詳細は年頭所感にて・・・

●**ラウンドテーブル**／1月29日ラウンドテーブル出席者よりスマイルさせていただきます。参加者：竹添、吉田、川路、宮脇、下村、濱上、逆瀬川、浦島、國料

2月3日のスマイル 小計 27,920円 2024~2025年度 累計 530,770円

ロータリーソング：「奉仕の理想」
職業宣言唱和：1・2
ゲスト紹介：米山記念奨学生＝グエン ティ トウ様
食事：「米山ランチ」・「本日の演奏」
会長の時間：下村 哲也 会長
奨学金支給：グエン ティ トウ様
誕生日お祝い：國料 忠さん (3日)
濱藺 義弘さん (6日)
志賀 啓一さん (6日)
丸山 健太郎さん (11日)
大迫 哲也さん (23日)・
福留 幸一郎さん (25日)
橋元 隆さん (28日)

会務報告：濱上 友美幹事
1) 本日の配布 ①週報 ②友のみどころ (2月号)
③確定申告用米山寄付金領収証
④抜粋のつづり
2) 市内 RC 会長幹事会 2/4 (火) 18:30～
山形屋食堂
出席者⇒下村会長、濱上幹事
3) RCC 例会 2/9 (日) 11:00～

第2161回例会記録 2月3日(月)

天文館松山通りリンクビル9階
指名出席者：竹添・浦島 各会員
4) 次週 2/13 (月) 例会プログラム
レディースデー例会 「ミニコンサート」
ゲスト：入来 慶子様、宮永 彩乃様、
宮澤レイモンド武尊様
定例理事会開催 例会終了後 社交室にて
出席報告：出席委員会
スマイルボックス：親睦委員会
3分間情報：友の見どころ⇒広報雑誌 IT 委員会
卓話：会員卓話
「年男 年頭所感」
吉田 健朗さん、鈴木 健さん、國料 忠さん

次回例会 令和7年2月17日(月)
3クラブ合同例会
(鹿児島I・鹿児島西・鹿児島中央)
18:30～ 於：山形屋食堂

| 出席率 | 会員数 | 出席数 | 出席報告 |
|---------------|-----|-----|--------|
| 第2161回例会 | 49名 | 32名 | 66.67% |
| 前々回(1月20日)の補正 | 49名 | 32名 | 66.67% |

本日のプログラム レディースデー例会「ミニコンサート」 2月 平和構築と紛争予防月間 前回例会出席率 66.67%

会長の時間 会長 下村 哲也

みなさんこんにちは。本日は記録の重要性についてお話をしたいと思います。会長業務においては、様々なタイミングで挨拶を行う必要があります。例えば、前回の例会では、職業奉仕賞の授与式がございました。その挨拶を行う場合、職業奉仕賞の沿革・歴史や授与基準等について、挨拶の中で触れた方が望ましいということになります。そのような沿革や歴史等を調べる場合、大事になってくるのが記録です。我が鹿児島中央ロータリークラブは、5年・10年の節目毎に記念誌を作成しております。



ネットサンス新書、2021年) ロータリー偉人マンガシリーズ (梓書房) 企画：国際ロータリー第2700地区青少年奉仕委員会・マンガ：宮下二三『マンガ 日本ロータリークラブの父 米山梅吉ものがたり』 企画：国際ロータリー第2700地区青少年奉仕委員会・マンガ：くどうみとし『マンガ 世界に友愛の輪を築いた偉人 ポール・ハリスものがたり』 企画：国際ロータリー第2700地区ロータリー財団委員会 / 広報・公共イメージ向上委員会・マンガ：日豆思惟子『マンガ ロータリー財団の父 アーチ・クランプものがたり』

記録は基本的に紙で作成しておりますが、特に古い周年誌は在庫がなくなってきておりますので、新入会員のお手元にお届けできなかつたりしております。今後は、これらの周年誌を電子媒体にして、新入会員の皆さんにお配りすることも考えなくてはなりません。また、ロータリーは、歴史が深く、当クラブのことだけではなく、地区、他の地区、日本、そして世界のロータリーの歴史等を把握しておく必要があります。そして、ロータリークラブについては、これまで様々な書籍が刊行されております。例えば、このような書籍です。田中久夫『ロータリークラブに入ろう!』(幻冬舎

記録はなかなか意図して作らないと後々残らないものです。最近では電子媒体で記録をする時代の流れとなっておりますが、電子媒体というものは、意外と後々残らないのではないかと感じております。例えばビデオテープですが、保存に注意しないとカビが生えて再生できませんし、再生する機械自体がなくなりつつあります。CD-ROMも、年月が経つと読み込めなくなることもあります。これに対し、紙はうまく扱えば1000年以上残ります。いずれにせよ記録は大事でございます。当クラブもまもなく50周年でございますので、周年誌を作ることとなります。皆さんぜひご関心を持っていただければと思っております。本日は以上です。ありがとうございました。

年男年頭所感

■吉田 健朗
今年で60歳還暦、本厄を迎えます。昨日神社に家族で行き厄払いのお祓いもしてまいりました。

鹿児島中央ロータリーに13年前のH24年入会させていただいたので2回目の年男年頭所感となりました。H25年の私の年頭所感の原稿見てみたら、40年近く応援している日本ハムファイターズに大谷という選手が入団決まっってうれしいとか、長女が小学校入学

■ 国際奉仕委員長 坂元 直人



上期について、恒例となっている離就任記念式典の参加は実施されなかった。セ釜山ロータリークラブとは、本年度で姉妹盟約締結から40周年の節目の年となっており、令和6年11月3日から同11月5日までセ釜山ロータリークラブの会員7名が来鹿された。令和6年11月3日はお出迎えの後、夜に懇親会の場をもうけ、双方のクラブの会員に交流の機会を持つことができた。

令和6年11月4日は双方のクラブの会員でゴルフコンペを開催した。相当程度の人数が参加し、双方のクラブの会員で良い思い出ができたように思われる。

令和6年11月5日は14時に鹿児島市役所を訪問し、鹿児島市長を交えてかごりんの贈呈式が実施された。

両クラブの会長が鹿児島市長宛に挨拶を行い、鹿児島市長から感謝の言葉と双方のクラブ宛に感謝状の贈呈を受け、姉妹盟約締結40周年にふさわしい場が設定できたものと思われる。

上記の贈呈式は前年度からの協議事項であり、発案者である竹添会員、前年度会長である高岡会員、本年度会長である下村会員等には感謝の気持ちをお伝えさせて頂きたい。

贈呈式後は、贈呈された5台のかごりんをみなと大通り公園に並べ、記念撮影等が実施された。

令和6年11月5日の夜はセ釜山ロータリークラブの会員に当クラブの例会に参加してもらい、かつ、例会終了後には双方のクラブで懇親会が実施された。

有意義な例会と懇親会になり、双方のクラブにとって意義深い記念式典になった。

下期は特段国際奉仕委員会としての活動はないものの、次年度の離就任記念式典に向けての準備を実施したいと考えている。

■ 交流委員長 竹添 寛



那覇西ロータリーとの高校生交流会を12月14日から16日の日程で開催いたしました。

初日14日は、行程を2コースに分けてゴルフ組は溝辺カントリーで親睦を図り、観光組は仙巖園等の観光をして、夜は、はいから亭で懇親会をしました。2日目は本坊会員の津貫マルス工場見学や知覧特攻平和会館等を観光し、樟南高校で沖縄尚学と樟南高校生によるテーマ発表会に感心しました。

夜も親睦の宴を開き、交流を深められたと思います。最終日は、中央ロータリー例会に両クラブ会員及び両校高校生も参加し、沖縄空手演武もあり、例会もいつも以上に盛り上がりました。今後も沖縄西ロータリーと高校生交流を中心に親睦を深めていきたいと思います。

た多くの方々との関係は、私にとってかけがえのない宝物です。これからもその絆を大切にし、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。

また60歳を迎えるにあたり、健康の重要性を改めて実感しています。これからの人生をより充実させるためには、心身ともに健康であることが不可欠であり、運動や食事に気を遣い、日々の生活を大切にしていける所存です。現在、1年に一回以上はフルマラソンを4時間以内で完走することを目的にトレーニングをしておりますが、今年も達成できるように頑張っております。

そして、これからの目標として、地域社会への貢献にも微力ではありますが取り組み、自分が受けた恩恵を次の世代に返していくことが、私の使命だと思っております。ロータリー活動もその一環として参加させていただき、少しでも社会に良い影響を与えられればと願っています。

最後に、今年一年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心より願っております。

■ 國料 忠



20年程前、当時の社長から、「君は、学校の行き帰り寄り道ばかりしてただろう」と言われたことがあります。確かに通学路も、社会人になっても人生も寄り道、回り道をしてきました。

大学卒業後、就職した会社から転職。社長が一人だけの会社に入りました。当時はバブル時代。映画やアニメ、音楽制作などとても楽しい経験を積むことができました。その後、バブルの東京をあとに、鹿児島に帰って現在の会社に入社したのは28の年です。いい映像を作ることが、一番だという想いで仕事に取り組んできました。制作現場にずっといましたが、50歳過ぎて一度辞め、3年程たち会社に戻ってきました。この3年は自分にとっては、必要な寄り道、回り道でした。

現在、心を砕いているのは後進の育成です。面白い作品づくりのポイントは、途中で寄り道が必要だと思っています。今の時代は、すぐに結論という時代ですが、あえて作る過程も、作品構成も寄り道の大事さを説いています。

還暦を迎えました。あの世のほうに近づいてきたのかもしれませんが、これからも寄り道、回り道をしながら楽しい人生を送りたいと思います。そして、会社は今年40周年を迎える記念の年です。会社が100年を超え、存続できるように社員を育てていきたいと思っています。

こともあって、当時の支店長と比較すると負けにくい元気でやれることが多いのではないかと感じております。しかし、「余裕と貫禄のあるベテラン銀行員」「穏やかなおじいちゃん」といった印象を持たれる年齢になったからこそ、今の若手行員たちから「余裕も貫禄もなく都合の悪い時だけアラ還を振りかざす面倒くさい年寄り」と思われていないか、少し心配でもあります。今後は「余裕と貫禄のあるベテラン銀行員」そして皆さんのように「いつも笑顔で穏やかなおじいちゃん」になれるよう、努力していきたいと思っています。

さて、昨年を振り返りますと1年を表す漢字一文字は「金」でした。パリオリンピックでの金メダルラッシュや政治資金などから選ばれた「金」でしたが、私が身を置いております金融業界も17年ぶりに金利のある世界に戻るとともに為替は1ドル160円まで円安進行、日経平均株価は4万円の壁を突破、新しいお札が発行されるなど、金融業界も大きな変化があった年でありました。そもそも「お金」を扱う業界ではありますが、「金」に関する変化が特に大きかった年であり、金融業界を表す漢字も「金」であったように思います。その変化の多い中で仕事では多くの挑戦と成長の機会があり、それらにどのように適応し、成長していくかが問われ、特に私たちのお客様や行内において、協力し合い、支え合うことの重要性を再認識した年でもありました。

個人的に昨年は、1月初めに父亡き後20年以上一人で実家を守ってくれていました母が他界しました。母が亡くなった後、実家やお墓の整理などを進める中で、近隣の方々からたくさんご支援いただき、亡き両親が近隣の方々と良い関係を築いていたことを知るとともに、改めて田舎のありがたみや支え合いの大切さを再確認しました。また、母のこともあり先延ばししておりました娘の結婚式を昨年11月に挙げ、新たな家族が増えるなど、60歳を迎えるにあたって地域コミュニティの大切さを実感するとともに別れと出会いの1年、漢字一文字で表せば還暦を迎える前の整理の「整」の1年でありました。

60歳という年齢は、人生の中で一つの大きな区切りであり、これまでの経験を振り返ると同時に、これからの未来に目を向ける良い機会でもあると思っております。

若い頃には、夢や目標に向かって突き進むことが多かったのですが、今はその経験を活かし、次の世代に何を伝えていくかを考える時期に来ていると感じています。

これまで様々な出来事や出会いがあり、喜びや悲しみ、成功や失敗、すべてが私の人生を豊かにしてくれました。特に、家族や友人、そして仕事を通じて出会っ

するので4月からランドセル姿が楽しみだとかどうでもいいことを話したようで、おまけに「年男にあたり一念発起して字をきれいにするという目標をたて、ユーキャンの実用ボールペン字講座を申し込みました」と言っていました。

皆様のご想像通り、申し込んだだけで初回の課題すら提出できず大量のテキストだけ手元に残り無駄な投資となってしまいました。

今年60歳になるにあたり、あまり振りかぶらず身の丈に合った目標をたてることといたしました。

ということで年齢を考え無理をせず健康に気を付ける一年とすることといたします。

12年前小学校に入学した長女も志賀理事長のおかげをもちまして志學館高校無事卒業することとなり、4月から東京の大学へ進学することとなりました。

本人は未知の大学生活と東京一人暮らしにワクワクしているようですが私と妻は反抗期の次女との付き合い方に思い悩んでいるところです。

あと年男とは関係ないですが兄が監督した映画「敵」がミット10で上映中です。

「老い」がテーマで夢と現実が曖昧になっていて明確な回答もないので見る人によっていろんな解釈ができそうな映画のような気がします。

筒井康隆の小説が原作なのですがモノクロの地味な映画でおそらく間もなく上映終わっちゃうと思いますが、機会あれば配信等でご覧になってくださいませ。

■ 鈴木 健



本日は、年頭に年男として所感を述べる機会をいただき、誠にありがとうございます。

この節目の年に、皆様と共に新たなスタートを切れることを大変うれしく思っております。

まず初めに、今年は私にとって特別な年であり、24歳と言いたいところではありますが、60歳の年男を迎えることとなります。

銀行に入行した頃は比較的大きな支店に配属されておりましたので、仕えた支店長は55歳の退職前ベテラン支店長で、その時の印象は「余裕と貫禄のあるベテラン銀行員」であるとともに「引退前の穏やかなおじいちゃん」というものでした。その年齢を超えた今の私を当時の支店長たちと比べてみますと、日々仕事に追われ余裕がなく、蠱鼠目に見ても「余裕と貫禄のあるベテラン銀行員」とは言えない現状であります。しかしながら良い意味でロータリーの若い大先輩の方々とお付き合いをさせていただいている